

令和3年度 学校評価報告

草加市立八幡北小学校
(令和4年1月18日作成)

1 学校教育目標 なかよく (徳) かしこく (知) たくましく (体) 知・徳・体の調和がとれた笑顔あふれる八幡北小	
2 重点目標・努力目標 (1) 自ら学ぶ力を育てる(学力の伸び率の重視) ①主体的・対話的で深い学びの実現 ②市教委研究委嘱 (2) 豊かな人間性を養う(いじめ・不登校0) ①道徳教育の充実 ②人権教育の充実 ③学校図書館教育の充実 ④生徒指導・教育相談の充実 (3) たくましく生きる力を養う (新体力テストA+B+C 80%) ①体力向上と健康教育の充実	3 前年度の成果と課題 成果 ○学習指導、特別活動の充実と、学習規律の徹底 ○児童に寄り添ったきめ細やかな指導とわかる授業を実施 課題 ●草加市教育委員会委嘱をもとにした、主体的・対話的で深い学びの実現 ●学級経営を基盤とした、確かな学力の育成

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○組織を機能させることや業務を分担する意識が高まり、笑顔溢れる学校づくりに向け、協働することができた。 ●制約・変更を踏まえ、業務を精選する。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究を通して、ブロック内での協議・検討を重ね、授業改善が図れた。 ●研修の充実を図り、授業力を向上する。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○ガイドラインを確認し、周知・徹底することで、全校共通で健康管理と保健衛生管理に取り組むことができた。 ●様々な事案を想定した危機管理マニュアルに基づく共通理解・共通行動を徹底する。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報保管における共通理解・共通行動を図り、適切な管理・運用に努めた。 ●学校全体で適切な施設設備の維持管理を継続する。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○目指す学校像をもとに、学校運営協議会委員と協議しながら地域とつながる機会をもてた。学校日より、HPを通して教育活動の様子を発信できた。 ●地域人材の活用し、連携をより推進する。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○研修を通じて、幼保小中それぞれの教員が、子どもの学びや成長の様子、今後の指導について確認できた。 ●制約・変更を踏まえた年間指導計画の見直しを行う。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○月・週ごとに予定を見直し、市や県、国の動静を注視しながら弾力的に対応できた。 ●身に付ける資質・能力を具体化し、教科等横断的なカリキュラムを作成する。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○埼玉県学力・学習状況調査、「草加っ子の基礎・基本」「草加っ子の学びを支える授業の5か条」に基づいた授業改善を行った。 ●地域の人材を活用する。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業でのご指導をもとに、考え議論する道徳に向けた授業改善を行った。 ●道徳的価値を各教科の指導計画に組み込み、教育活動全体を通じた道徳教育の充実を図る。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTとの連携を深め、外国語・外国語活動の授業において主体的に活動する児童の姿が多く見られるようになった。 ●制約がある中でも児童にとって深い学びになるための指導計画を作成する。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別活動を校内研修で行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を行った。 ●新しい生活様式に合わせた学校行事の計画立案・実践を行う。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が興味関心をもったことに対し、タブレットを有効的に活用したことで、主体的な学習に取り組むことができた。 ●「まなぼうふるさと草加」を指導計画の中に段階的に位置付け、地域への関心を高める。
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○外部人材を招いていじめ防止対策委員会を確実に実施し、一つ一つの事案を丁寧に話し合った。 ●I's2019や生徒指導提要等の参考資料を活用しながら、より強固な生徒指導の組織体制を整える。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスポートを活用し、児童が主体的にめあての設定・ふりかえりを行い、学期ごとの成長をふり返ることができた。 ●中学校と連携したキャリア教育を実施する。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教育支援室との連携や児童理解研修等を定期的に行い、児童一人一人により効果的な指導を行った。 ●個別の支援計画を充実させ、一人一人の児童の実態について校内で共通理解を図る。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館司書を中心に学校図書館のイベントを開催したことで、年間の貸出冊数が増加した。 ●蔵書の計画的な点検・整備を行い、児童のねがいに沿った図書館経営を行う。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○授業等でタブレットの積極的・有効的活用に努め、学習意欲と児童の情報活用能力が高まった。 ●情報モラル教育について各教科の指導計画に組み込む。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○夏季休業中に教職員の人権感覚育成をねらいとした研修を実施した。また、人権感覚育成プログラムをもとにした授業を実施した。 ●児童一人一人の人権感覚の育成に努める。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①一人一人を大切に生じた生徒指導・教育相談	・豊かな体験活動	A	○生徒指導部会・いじめ防止対策推進委員会では外部講師を招聘し、生徒指導・教育相談、特別支援上の課題について協議した ●地域・家庭と連携し、SNS、アプリ内のトラブルを未然に防止する。
	②学力の向上	・基礎基本の徹底	B	○業前に北っ子タイム(活用問題への取組)・算数タイムを全校で実施し、基礎的基本的学力の向上に努めた。 ●書く力を高めるため、授業づくりを工夫し、授業の中で書く機会を設定する。
	③地域の力を生かした教育環境の整備	・地域ともに行う環境整備	A	○地域の方がボランティアとして学校清掃に携わっていただき、児童の学びを支える環境を維持することができた。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

本校は、「なかよく 賢く たくましく」の学校教育目標のもと、知・徳・体の調和がとれた笑顔あふれる八幡北小学校づくりに励んだ。

- ・令和2・3年度草加市教育委員会研究委嘱に伴い、学級経営を基盤として、学ぶ喜びを味わわせる授業づくりに取り組んだ。
- ・ガイドラインや学校内のきまりを遵守し、新型コロナウイルスの感染拡大防止、児童の大きな事故やけがの防止に努め、安心・安全な学校づくりを行ったことで、児童の安全面、衛生面に配慮していると考えている保護者が多い。

6 次年度の改善策

今後、変更・制約が続く可能性を踏まえ、教職員・児童・保護者の思いを取り入れながら、より見通しを持った学校教育活動を実施する。

- ・保護者や地域の方々の思いや力を、児童により伝え、あいさつという形で地域とかかわりあえるようあいさつ運動等の充実を図る。
- ・今年度の研修の取組、成果や課題を踏まえ、児童に身に付けなければならない資質・能力を見通し、教育活動の改善と教育課程全体の質の向上を図るため、全教員による諸調査の分析と、段階的に教科担任制に取り組む。
- ・生徒指導部会やいじめ防止対策推進委員会を充実させ、深い児童理解に伴う積極的生徒指導を実施する。
- ・教職員事故0を目指し、ショート研修会を次年度も継続的に実施する。